

世界の人びとのための JICA 基金活用事業 終了時活動報告書

提出日：2026年8月28日

1. 案件の概要	
(1) 案件名	学校における児童の眼の健康を守る事業
(2) 実施団体名	特定非営利活動法人ヒマラヤの星たち
(3) 団体所在地	神奈川県足柄下郡湯河原町
(4) 団体ウェブサイト	https://npo-shiningstars.org
(5) 実施期間	2025年12月5日～2026年7月31日
(6) 実施国	ネパール
(7) 活動地域	カブレパランチョク郡パンチカル市
2. 活動概要	
(1) 活動の背景	
<p>ネパールでは、3万人の子どもが失明し、20万人の弱視者、33万人の屈折異常のある子どもがいる。学校においては、教員の中には屈折異常のある児童の視力に気付いて学習能力の発達の遅れを心配する向きもあるが、それに気付かずに障害を能力の欠如として見過ごされるものが少なからずいることを教員の間から示唆された。</p> <p>私たちは、2017年から子どもの眼の障害の発見、治療に着手し、2023年にNPO法人を設立してその事業を引き継いだ。2024年には、JICA基金活用事業に採択され、前年に眼鏡を供与したゴルカ郡2校の児童のフォローアップ検診、眼鏡の再調整およびダディン郡2校の児童の検眼、検診ならびに眼鏡の調整を実施した。</p>	
(2) 活動の目標	
<p>私たちは、「ネパールの明日をつくる子どもたちにエールを」を標榜して、ネパールの無医村地域の学校単位で児童の眼の健康を守る活動を実施している。学校保健の政策が定着していないネパールでは、失明につながる眼疾病や思考能力の形成や学力の向上を妨げかねない近視等の屈折障害が見過ごされている。</p> <p>私たちは、国の将来を担う「ひとづくり」の一助となるように、眼の障害を早期に発見して、子どもの健全な生育に資することを目標としている。</p>	
3. 活動の結果	
(1) 実施した内容	
<p>1. カブレ郡2校において視力検査、医師による検診、講習を以下のとおり実施した。</p> <p>1-1 本事業に先立って、自費により事業計画を2校の全教員に説明し、あらかじめ全自動の視力検査を実施するよう依頼して、視力検査の研修を実施</p> <p>1-2 先行して実施した視力検査の結果より視力0.5以下の児童および教員、学校運営委員、父兄の視力検査を実施</p> <p>1-3 視力検査を実施したもののうち視力0.5以下の者を眼科医が携帯細隙灯顕微鏡を用いて検診</p> <p>1-4 眼科医による教員、学校運営委員、父兄を対象として、眼の健康にかかる基礎知識の講習会を実施</p> <p>2. カトマンズの眼科病院で再検査、障害対応措置</p> <p>2-1 医師が再検査の必要を認めたもの（除く委員、父兄）をティルガンガ眼科病院にて再検査</p> <p>2-2 屈折障害のあるものに眼鏡を調製供与</p> <p>3. 2校において教員等とラップアップミーティングを実施</p> <p>3-1 教員に対し事業の成果を報告</p> <p>3-2 眼鏡を供与した児童およびその他障害が認められた児童の父兄に障害の状況および今後の対応を説明</p> <p>3-3 次年度にも本事業を実施することで合意</p> <p>3-4 学校が自主的に定期視力検査を実施するよう推奨</p>	
(2) 実施結果	

2校にて実施した結果は以下の通り（上記内容の番号に対応）
1-2 再視力検査をした児童は142人、教員22人、委員、父兄40人
1-3 医師が検査した児童は19人、教員9人、委員、父兄28人
1-4 講習に参加した教員は30人、委員、父兄33人
2-1 カトマンズで再検査した児童は12人、教員7人
2-2 眼鏡を調製供与した児童は4人、教員は6人

(3) 事業を実施して得られた教訓など

- 1. 学校の事情によりプログラムの変更を余儀なくされたが、臨機応変に作業を進めることができ、現地協力員の習熟度が確認できた
- 2. 屈折障害児童は他所より少なく、理由は不明だが、検査の精度は適切と思われる
- 3. 眼科医の講習内容が昨年度よりアップグレードされた
- 4. 講習会後のアンケートに見られる教員の眼の健康に関する見識は実施前より高まったと思われる
- 5. 講習会に参加した運営委員、父兄の数は予想を上回るものがあり関心のあることが確認できた
- 6. ティルガンガ眼科病院の当事業総括顧問医と現場の眼科医の配置と連携は適切であり、効果的なオペレーションを得られた

(4) 今後の活動・フォローアップの方針

- 1. 次年度に同じ対象校で事業を実施して、当方の支援がなくとも毎年視力検査を実施するよう動機付けをする。（3年継続を目途とする）
- 2. 前年度眼鏡を調製供与したもののフォローアップ検視をして、必要に応じて眼鏡の調整をする。

4. 活動中のエピソードなど

- 1. 一校では、郡教育事務所の講習を受けた教員の協力のもと視力検査を実施したが、検査方法や学校内の運営体制には調整が必要な点も見られた。今後、学校が主体となって継続的に視力検査を行えるよう、教員への技術定着や実施体制づくりの重要性を改めて確認した。
- 2. 他の一校は純農村部にあり、校長から村人に対して事業への参加の広報がなされていた。運営委員、父兄、村人は視力検査と眼科医の検診にとどめ、疾病のある者には眼科医が症状のメモを手交して自前で病院に行くよう促した。
- 3. 活動を開始して以来教員の屈折異常は毎回数人を数えたが、今回の教員の一人の障害は教員活動に支障をきたすほど強度のものであり、生徒の障害への感度が懸念された。

5. JICA基金活用事業を実施したことで団体にとって良かった点・成長に繋がった点

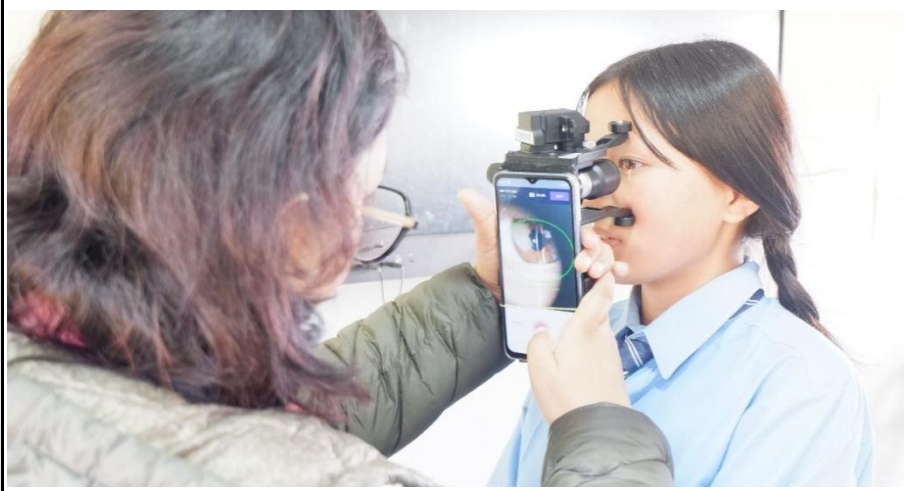
- 1. 校長をはじめ教員との信頼関係を容易に構築できるようになった。
- 2. 上記により学校における活動の進行が臨機応変に実施できるようになった。
- 3. ネパールの眼科医療関係者との連携が確立した。
- 4. 医師の講習の内容がより現場事情に即したものとなった。

6. 活動の写真



視力検査表を用いた視力検査

視力検査（教員の訓練を兼ねる）



学校における医師の検診（携帯型細隙灯顕微鏡使用）



ティルガンガ眼科病院にて眼鏡の調整（レンズ合わせ）



ティルガンガ眼科病院内の眼鏡ショップにて



医師による教員・学校運営委員・父兄を対象とした講義